

フクシマ事故を
繰り返してはならない。

「世界の中心で、愛をさけぶ」の作者・宇和島市出身

かたやま きょういち

片山恭一講演会

6月23日(日) 開場13時 13:30~16:00

【会場】 愛媛大学南加記念ホール(愛媛大学正門を入りすぐ右)
駐車場は正門前スタッフの指示に従ってください。

片山講演「原発をやめ、愛ある日々と未来を」

サブ報告「フクシマの被曝問題」(曾根康夫医師)



資料代500円

片山恭一氏の作品『世界の中心で、愛をさけぶ』は、テレビドラマにもなった。同作品は2004年、国内単行本最多発行の306万部を記録(Wikipedia情報)した。片山氏は、「何処に向かって死ぬか」、「静けさを残して鳥たちは」など、純文学で哲学的な作品でも知られている。九州玄海訴訟では、原告席に立ち「少なくとも私のなかでは、核エネルギーの問題を放置して小説を書きつづけることは、自らの文学を否定してしまいかねない矛盾と欺瞞を抱えることとなります」との陳述を行った。



伊方原発をとめる会

790-0003 愛媛県松山市三番町5-2-3ハヤシビル3F
電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991
HP <http://www.ikata-tomeru.jp>

